

## 解 答

## 【一】

- 問一 ① さっそく ② あんぴ ③ すじがね ④ まわた ⑤ こお  
⑥ 機能 ⑦ 複雑 ⑧ 統一 ⑨ 収集 ⑩ 首脳  
⑪ 業務 ⑫ 派遣 ⑬ 整列 ⑭ 乾 ⑮ 芽生  
問二 ⑯ 犬 ⑰ 顔 ⑱ 歯 ⑲ 実 ⑳ 足

## 【二】

- 問一 a ウ b イ  
問二 A くだす B おろす  
問三 対象  
問四 目上の人が、目下の人に物を与え、渡す  
問五 イ  
問六 自然界や、人間界の、あらゆる物事を区別し、判断する  
問七 ヤマト言葉に「自然」という単語がないことから、日本人が「自然」と一体化しようとしていたことがわかる。そうした二千年前の日本人のあり方は、現代の日本人の間でも、自然の一つの風物として生きるという隠棲の思想として受け継がれているということ。  
問八 ウ

## 【三】

- 問一 a イ b ア  
問二 ア  
問三 他人  
問四 IV V  
問五 エ  
問六 一人のよめ入り前の女性として見るようになったということ  
問七 自分のことしか考えられず、感情に任せてやつあたりしていた時は割れなくて、冷静に周りの人の気持ちを思いやれるようになった時に割れた。  
問八 妻を失い、娘を嫁に出すため、さびしい思いをしているはずの父を思いやる気持ち。